

東京都事業 令和6年度 西新宿スマートシティプロジェクト
第2回 西新宿スマートシティ協議会 議事要旨

- 日時： ■ 2024年11月21日（木）15:00～16:00
- 出席者： 【協議会構成員】
(敬称略) ■ 一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会
■ 小田急電鉄株式会社
■ 学校法人工学院大学
■ KDDI株式会社
■ 住友不動産株式会社
■ 損害保険ジャパン株式会社
■ 大成建設株式会社
■ 東京ガス株式会社
■ 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社
■ 独立行政法人都市再生機構
■ 株式会社 JTOWER
■ 東京電力パワーグリッド株式会社
■ ソフトバンク株式会社
■ 東日本電信電話株式会社
■ 株式会社角川アスキー研究所
■ 株式会社ジョルテ
■ 新宿区
■ 東京都 デジタルサービス局
■ 東京都 都市整備局
■ 東京都 産業労働局
- 開催方法： ■ オフライン・Web 併用
- 場所： ■ 東京都庁 第一本庁舎 42階 特別会議室 C
- 議題： 1. 開会の挨拶
2. 協議会参加者の紹介
3. 今年度の取組スケジュール
4. 令和6年度・第1回協議会の意見に対する対応
5. 各部会の目標設定・活動内容
5-1.スマートサービス実装部会
5-2.広報・コミュニティ部会
5-3.データ利活用部会
6. 推進体制検討の概要

- 7. 質疑応答・意見交換
- 8. 閉会の挨拶

資料： 1. 第2回協議会資料

1. 開会の挨拶（事務局）

- 議事次第
- 開会の挨拶

（東京都デジタルサービス局）

- 都庁のおひざ元である西新宿でのスマートシティの取組が少しずつ前に進んでいることが世の中の皆様にも実感いただけるフェーズに入ってきたと思う。またスマートシティの取組の中で西新宿が目指す将来像は「賑わい創出、まちの魅力向上」がキーワードとなると考えている。先日開催したスマートシティフェスタも多くの方に来場いただき、西新宿のまちが盛り上がりを見せつつある。
- 一方で、スマートシティの実装や開発は簡単な道のりではないため、皆様と協力しながら前進し、西新宿が東京でも先陣を切っているまちだという認識を持っていただけるようにしていきたい。ぜひ忌憚のないご意見をいただきたい。

2. 協議会参加者紹介（事務局）

- 協議会参加者の紹介

3. 協議会の取組の方向性と年間スケジュールの確認（事務局）

- 今年度の取組概要
- 資料の通り説明
- 協議会の取組の方向性
- 資料の通り説明
- 年間スケジュールの確認
- 資料の通り説明

4. 令和6年・第1回協議会の意見に対する対応方針

- 令和6年・第1回協議会の意見に対する対応
- 資料の通り説明

5. 各部会の活動内容

- 各部会の活動内容

1.1 スマートサービス実装部会

- 各取組について

- 資料の通り説明

1.2 広報・コミュニティ部会

- 各取り組みについて
- 資料の通り説明

1.3 データ利活用部会

- 各取り組みについて
- 資料の通り説明

6. 推進体制検討の概要

- 令和7年度以降の西新宿スマートシティの推進体制検討について
- 資料の通り説明

7. 質疑応答及び意見交換

- 質疑応答及び意見交換

—以下意見交換内容—

(発言者A)

- 自動運転モビリティが西新宿でも注目を集めているが、来年度の大阪・関西万博ではEVバスが自動運転（レベル4）で走行するそうだ。その際には日本にも関心が集まるが、西新宿でも新宿駅から都庁までつなぐ定期運転ができると良い。
- デジタルツインについても、1960年の映像は非常に興味深く、メタ観光と繋げられるのではないかと。例えば江戸時代の内藤宿の姿があってもよいと思う。デジタルツインの技術を使って西新宿の歴史を振り返ることが出来るとよい。

(発言者B)

- 自動運転の走行については、今年度は昨年度よりも降車場所を増やし、限定された場所だけでなく複数の場所で降車いただけるルート設定にしている。また次年度について定期運航の要望をいただき、大変ありがたいと感じている。今年度の走行実績を踏まえて今後検討をしていきたい。レベル4走行に関しては、都心部で実験することの課題もあるため、今年度の走行を踏まえて課題を解消できれば良いと考えている。

(発言者C)

- 過去の新宿に注目いただき大変光栄だ。メタ観光のご感想をいただけたが、過去の西新宿の中で観光スポットを掘り下げると複数あると考えている。これを形にした際には一般の方に周知していくこと、また他のまちや時代でも実現できると思うため今後検討させていただきたい。

(発言者D)

- 西新宿スマートシティ協議会の方針として、各企業のビジネスモデルを検討する必要があるため、西新宿発で東京や全国に広げていくことは違和感ないと考えている。一方で西新宿らしさに着眼していくと、住民・生活者として西新宿らしいスマートシティを明確にしてほしいと考えている。今後の計画については整理いただくと思うが、ローカル視点と全国への発展に向けた視点は検討いただきたい。

(発言者E)

- 広島と西新宿を中心にイベント情報を収集し、地図で検索する仕組みを開発し、10月にリリースした。1,300自治体と連携し、年間4万件のイベント情報を収集しているが、網羅的に集める際に「登録してください」と依頼するだけでは積極的に登録いただくことは難しい。当初は東京から開始する予定だったが、広島が100万人都市でありながらコンパクトな都市であるため、まずは広島の情報を集めきってから全国に拡大しようと考えている。
- 各部会のKGI・KPIの数値がどれくらいになると、どういう状態になるかのイメージが共有されると良い。
- 広報・コミュニティ部会のKGI・KPI項目に入れていただきたい項目として「関わってくれる地域コミュニティの数」を増やしていけるとよい。さらにコミュニティに対して西新宿のイベントスペースを発信し、西新宿でイベントを実施するとメリットがある点をアピールできるとよい。例えば西新宿で実施するイベントに関する周知・集客の面でスマートシティ協議会が支援できると大変喜ばれると思う。

(発言者F)

- 今回さまざまな取り組みを紹介いただき、西新宿スマートシティの取組は民間企業同士が手を組みながら外に展開するフェーズに入ったと感じた。例えばエネルギー管理でのデータ収集や分析、熱中症シミュレーションに西新宿のデータを活用いただいたり、デジタルツインの観光利用などの新しい活用方法に関するご意見もいただくことが出来たり、スマートサービスの使い方を各事業者の方々が検討し、成果に結びつける動きが見えてきていると思う。
- この2年間はKGI・KPIを数値化し、目標を明確化し重点的に活動してきたが、今後は部会ごとに目指す姿やKGI・KPIの設定する意義を再考するフェーズに来ていると感じている。来週から西新宿でイルミネーションが始まり、生活者の方にも魅力を感じてもらえる時期になってきている。まち全体を盛り上げる上で協議会が担える役割も大きいのではないかと。

8. 閉会の挨拶（事務局）

■ 閉会の挨拶

（一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会）

- 環境改善委員会は西新宿をフィールドとしたまちづくり組織として 2010 年に始動し、15 年を迎えようとしている。2020 年にスマートシティ協議会が立ち上がり、その前と後ではかなり違う動きになっている。
- 以前は都市空間の話が中心となっていたが、まちづくりは空間とサービスの掛け合わせと考えているため、デジタルのサービスとの相乗効果が期待できると考えている。加えて、2030 年ごろに向けて西新宿の空間は大きく変わるため、空間とサービスの組み合わせの中で今後 5～10 年で大きく変わる段階で組み合わせをどうするか、デジタルの力で空間を変えるようなチャレンジをしていくことも一案だと思う。
- 西新宿には LINE コミュニティもあるため、生活者の方々にご意見を頂戴し、今後変わっていくまちに対して意見をいただくとよいと思う。本日の会議から、過去の西新宿を振り返ることも重要だと感じたため、時代の変化でギャップが出てきている部分をデータや資料を分析し、変えるべきところ・受け継いでいくこと精査し、良い方向に変えられると良い。
- 生活者や協議会のメンバーと 5～10 年後を想像しながら、KGI・KPI を達成すると西新宿はこのように変わるだろうという絵姿を共有できると良い。環境改善委員会は東京都と西新宿の再整備方針を検討しているが、まちを運営・管理していくために、スマートシティ協議会と一緒にデジタルのサービスを活用しながらまちづくりをしていきたいと感じている。
- 西新宿のように官民一体でさまざまな取り組みを実施している都市は珍しいため、デジタルの力を活用しながら西新宿でスマートシティの成果を出していきたい。

以上